

配配メール

API連携(CSV一括登録・削除)について



1.CSV一括登録・削除API 連携機能の概要

2.連携機能のセキュリティ

3.ご用意いただくプログラム

1.①のプログラムの詳細

2.②のプログラムの詳細

1. 1.CSV一括登録・削除API 連携機能の概要

◆ 概要

御社の既存システムなど、外部システムのデータベース(以下、DB)から、新規登録・削除された顧客情報を配配メールに送信し、配配メールの顧客DBに一括登録・削除することができます。

これにより、外部システムのDBに配配メールのDBを同期させることができます。

◆ 外部システム連携の流れ

1.外部システムのDBにおいて、新規登録・削除があった顧客情報のCSVファイルを作成する。

※上記のプログラムは御社にてご用意をお願いいたします。

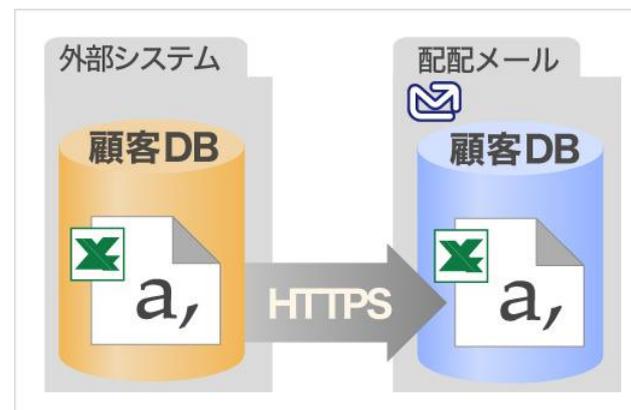


2.外部システムのDBにおいて、作成したCSVファイルを配配メールへHTTPSのPOSTメソッドで送信する。

※上記のプログラムは御社にてご用意をお願いいたします。



3.送信された顧客情報のCSVファイルを配配メールの顧客DBに一括登録・削除する。



2. 連携機能のセキュリティ

◆ セキュリティ

配配メールは、本機能をお客様に安心してご利用いただくために、以下のようなセキュリティ対策機能を実装しております。

1. 配配メールのログインパスワードと異なる、システム連携用パスワードの設定

配配メールではログイン時のパスワードを自由に設定して頂くことができますが、ログインパスワードとは別にシステム連携機能を利用するためのパスワードを設定することができます。

これにより、外部システムから配配メールに顧客情報を送信することができるユーザを制限することができます。

2. IPアドレスによる利用制限

IPアドレス単位で、外部システム連携機能の利用を制限することができます。

利用を許可するIPアドレスは御社にて自由に設定していただけます。

3. ご用意いただくプログラム

◆ 御社にてご用意いただくもの

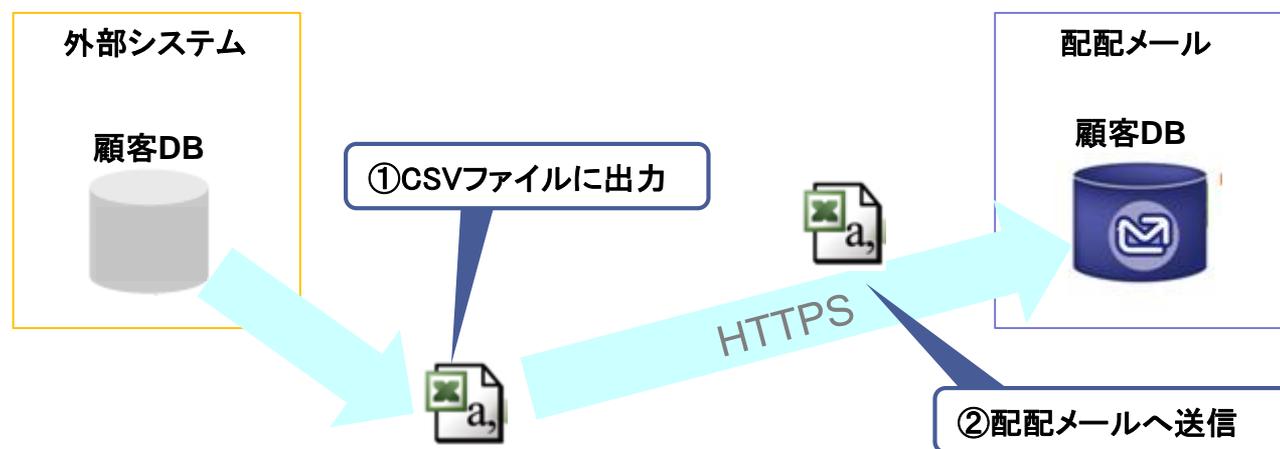
以下2種類のプログラムを、事前に御社にてご用意ください。

① 御社のシステム上にあるDB内のデータを、CSVファイルに出力するプログラム

② 出力されたCSVファイルを、配配メールへHTTPS形式で送信するプログラム

※① ② いずれのプログラムも御社のサーバ内に設置してください。

※各プログラムについては次ページより説明します。



3-1.①のプログラムについて

①御社のシステム上にあるDB内のデータを、CSVファイルに出力するプログラム

本プログラムは、以下のルールに従って作成いただく必要がございます。

◆ CSVファイルに関するルール

- ・文字コードはSJISです。
- ・送信できる最大のCSVファイルサイズは、共用サーバは10MB、専用サーバは30MBです。
- ・CSVファイルの1行目には、必ずデータベース項目名（「メールアドレス」など）の記述が必要です。

※配信メールで設定してあるデータベース項目名と同一にしてください。名称が異なる項目に関しては、登録・削除ができません。
項目の順番は異なっても問題ありません。

	A	B	C	D	E
1	メールアドレス	お名前	お名前(フリガナ)	会社名	会社名(フリガナ)
2	11@rakusu.co.jp	山田太郎	ヤマダタロウ	株式会社ラクス	ラクス
3	22@rakusu.co.jp	山田花子	ヤマダハナコ	株式会社配配メール	ハイハイメール

3-2. ② のプログラムについて

②出力されたCSVファイルを、配配メールへHTTPSで送信するプログラム

◆ 送信先URL

<https://xxx.xxx.jp/?ac=ScheduleCsvImport>

(赤字部分はお客様のアカウントごとに異なります。)

◆ 送信パラメータ(一部を抜粋)

以下のようなパラメータを「送信先URL」にPOSTメソッドで送信します。

項目名	型	必須	備考
aid	数値	●	配配メールアカウントID
loginid	文字列	●	配配メールログインID
transport_passwd	文字列	●	ファイル転送用パスワード
csvfile	ファイル	●	CSVファイル ★ファイルサイズ制限 共用:10MB 専用:30MB
import_type	数値	●	0:登録、1:削除、2:停止、3:禁止、5:可能
gid	数値	△1	グループID
spid	数値	△2	ステップメールプランID

△1: 配信グループに対する操作の場合は必須。

△2: ステップメールプランに対する操作の場合は必須。

3-2. ② のプログラムについて

◆ 実行結果

CSVファイル送信の成功可否について、以下のような成功または失敗のHTTPステータスコードを返します。

ステータスコード	
200	OK
400	Bad Request
401	Unauthorized
500	Internal Server Error

また、失敗の理由について、以下のような配配メールのエラーコードを返します。

エラーコード例(一部抜粋)

エラーコード	メッセージ
81401	unauthorized aid, loginid, password のいずれかが正しくありません。
81402	access denied 許可されていないIPからのアクセスです。
81421	bad aid aid が不正です。
81422	bad loginid loginid が不正です。
81423	no password パスワードが入力されていません。
81431	bad import_type import_type には、0~3または5の数値を指定してください。
81433	bad overwrite parameter is_overwrite には、0または1を指定してください。
81435	bad gid gid が数値ではない、または存在しないgid です。

※このステータスコードは、CSV一括処理の成功・失敗を表すものではありません。
そちらにつきましては、配配メールの「一括登録・削除の処理結果」レポート画面よりご確認いただけます。

※CSV一括処理後は、管理者アドレス宛にレポートメールを送信します。
レポートメールにて、CSV一括処理の成功数、失敗数を確認できます。